

# はやぶさ物語

日本物理学会 第67回年次大会

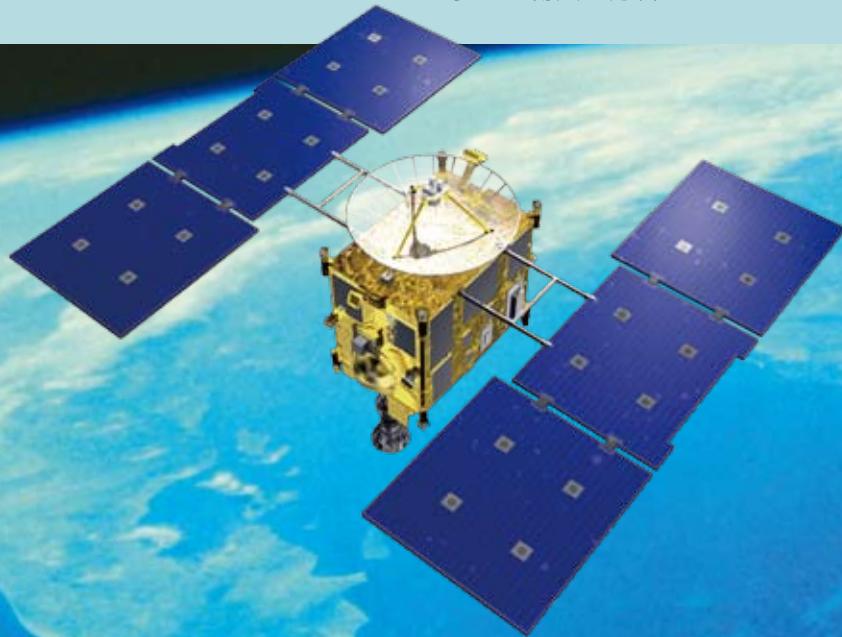
## 市民科学講演会

小惑星「イトカワ」を探索することを目的に打ち上げられた「はやぶさ」が  
イトカワの着陸に成功したものの様々なトラブルのために何度も帰還が危ぶまれました。

しかし、「はやぶさ」はそれらを克服し約60億キロの旅を終え、  
7年ぶりに地球へ帰還し日本国民はもちろんのこと、全世界に感動を与えてくれました。

このプロジェクトの中心になった世界的に著名なお二人の先生に

「はやぶさ物語」、さらに現在進んでいる  
小惑星物質の分析についてわかりやすく話していただきます。



(C)JAXA

[「はやぶさ」が挑んだ人類初の往復の宇宙旅行 -その7年間の歩み-]

JAXA教授

川口 淳一郎先生

[「はやぶさ」の見たもの持ち帰ったもの]

JAXA准教授

安部 正直先生

日時

2012.3.25 SUN  
13:00開場 14:00～16:30 講演

日本物理学会

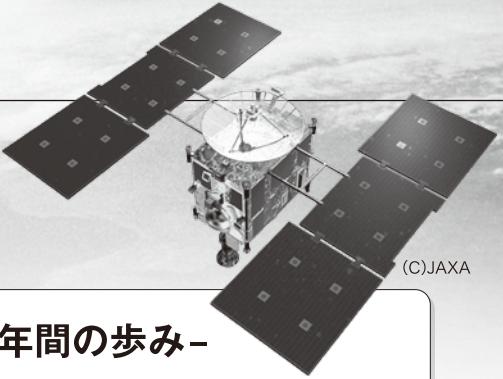
会場／関西学院 西宮上ヶ原キャンパス 高中部礼拝堂



<http://sci-tech.ksc.kwansei.ac.jp/jps2012sp/>

日本物理学会第67回年次大会 市民科学講演会

# はやぶさ物語



## 「はやぶさ」が挑んだ人類初の往復の宇宙旅行 -その7年間の歩み-

川口 淳一郎先生

講演者紹介

JAXAシニア・フェロー、宇宙科学研究所研究主幹 教授、1996-2011:「はやぶさ」プロジェクトマネージャ。朝日賞、文科大臣特別賞など多数の賞を受賞。



2003年に打ち上げられた「はやぶさ」は、小惑星イトカワへの着陸を果たし、試料採取を試みた後、2010年6月13日、7年間60億kmの往復の宇宙飛行を終え、地球に帰還して、試料カプセルを無事降下させ、回収することに成功しました。これは、地球引力圏外の天体への人類初の往復の宇宙飛行でした。講演では、その技術実証の意義とともに、飛行中の苦難とその対応について紹介し、得られた教訓、またそれから観た昨今の社会状況への対応についてお話したいと思います。

## 「はやぶさ」の見たもの持ち帰ったもの

安部 正直先生

講演者紹介

JAXA 宇宙科学研究所准教授、専門は惑星科学、現在、「はやぶさ」サンプルのキュレーション作業に従事、「はやぶさ2」にも関わっている。



はやぶさが探査した小惑星イトカワについて、探査機の小惑星滞在中に行ったリモートセンシング観測などの成果からわかったこと、イトカワから持ち帰った小惑星物質の分析研究からわかったことについて講演します。はやぶさカプセルがオーストラリアの砂漠で回収されてから、サンプルが取出されイトカワの物質が入っていたことが分かるまでの作業についても様々な記録をもとにお伝えします。

場 所 関西学院 西宮上ヶ原キャンパス 高中部礼拝堂  
阪急電車甲東園駅下車後、阪急バスで関西学院前下車、徒歩 約5分

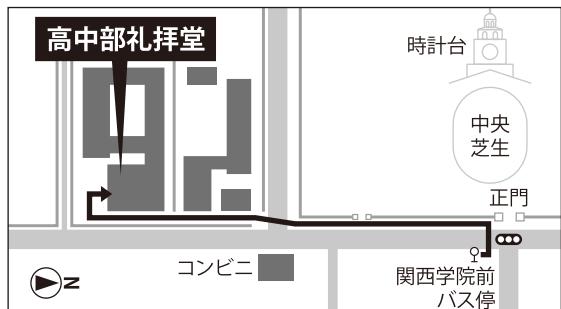
日 時 平成24年3月25日(日)

開 場 13:00 講 演 14:00~16:30

参 加 費 無料

お申し込み 下記のURLにアクセスし、申し込みフォームよりご登録ください。(定員600名様)

お問い合わせ 関西学院広報室 TEL.0798-54-6017  
<http://sci-tech.ksc.kwansei.ac.jp/jps2012sp/>



主催／一般社団法人日本物理学会、日本物理学会第67回年次大会実行委員会

共催／関西学院大学 後援／兵庫県教育委員会、西宮市教育委員会、神戸市教育委員会、三田市教育委員会